災害対応車両の登録申請
（車両の情報）
（車両の登録を行う場合）

災害対応車両の登録申請（車両の情報）①

防災庁

□ 車両の登録を行うには、マイページの画面から、「登録車両一覧」をクリックしてください。



□ 次に、登録車両一覧の画面から、「＋新規車両を追加」をクリックしてください。



災害対応車両の登録申請（車両の情報）②



◘「現在のステータス」は、現在の車両の状況について
・「問合せ可能」
・「問合せ受付中」
・「問合せ対応不可」
・「災害対応中」
から該当するものを選択してください。
なお、「問合せ受付中」とは自治体から問い合わせがあり、問合せ内容の確認中とのことです。

◘「災害時に支援可能な用途」は、登録する車両が、災害時にどのような用途で活用可能かを選択してください。

※　複数の用途の登録基準に適合する場合は重複選択も可能です。
例）「避難所」と「住まい」で利用可能等

災害対応車両の登録申請（車両の情報）③



- 「車両画像の添付」は、登録する車両について、「外観・内観」の画像の添付を行ってください。
- 添付する画像は、地方自治体等が閲覧するページに掲載され、公表されます。車検証や営業許可証等の個人情報が特定されるような書類の添付はしないようご注意ください。
- 添付する画像は、地方自治体が、問い合わせを行う先を選定する上での参考となります。添付する画像は、見やすく、わかりやすいものを選別して、添付をお願いします。
  なお、1枚目に登録をされた画像がサムネイルとして表示されます。

災害対応車両の登録申請（車両の情報）④

防災庁



- 「車両資料の添付」で登録した資料は、地方自治体等が閲覧するページで公表されません。審査において添付された車両の資料を確認します。なお、審査を行う過程で、追加で資料の提供を依頼する可能性がありますので、あらかじめ、ご了承ください。

- 添付する車両資料の一例は下記となります。
  - 車の車検証（車両ナンバー、初度登録年月、車検満了日等の確認に利用します）
  - 車両の図面（車両内の間取り等が分かるもの）
  - 車両の仕様書（車両の仕様が書いてあり、審査に必要と思われる場合）
  - 車両のパンフレット（図面や仕様書の代わりになる場合）
  - 車両の取扱説明書（図面や仕様書の代わりになる場合）
  - 車両の写真（図面や仕様書の代わりとなる場合）

- 添付が必要となる資料については、「【注意事項】」をよくご確認いただき、申請をお願いします。

災害対応車両の登録申請（車両の情報）⑤

防災庁

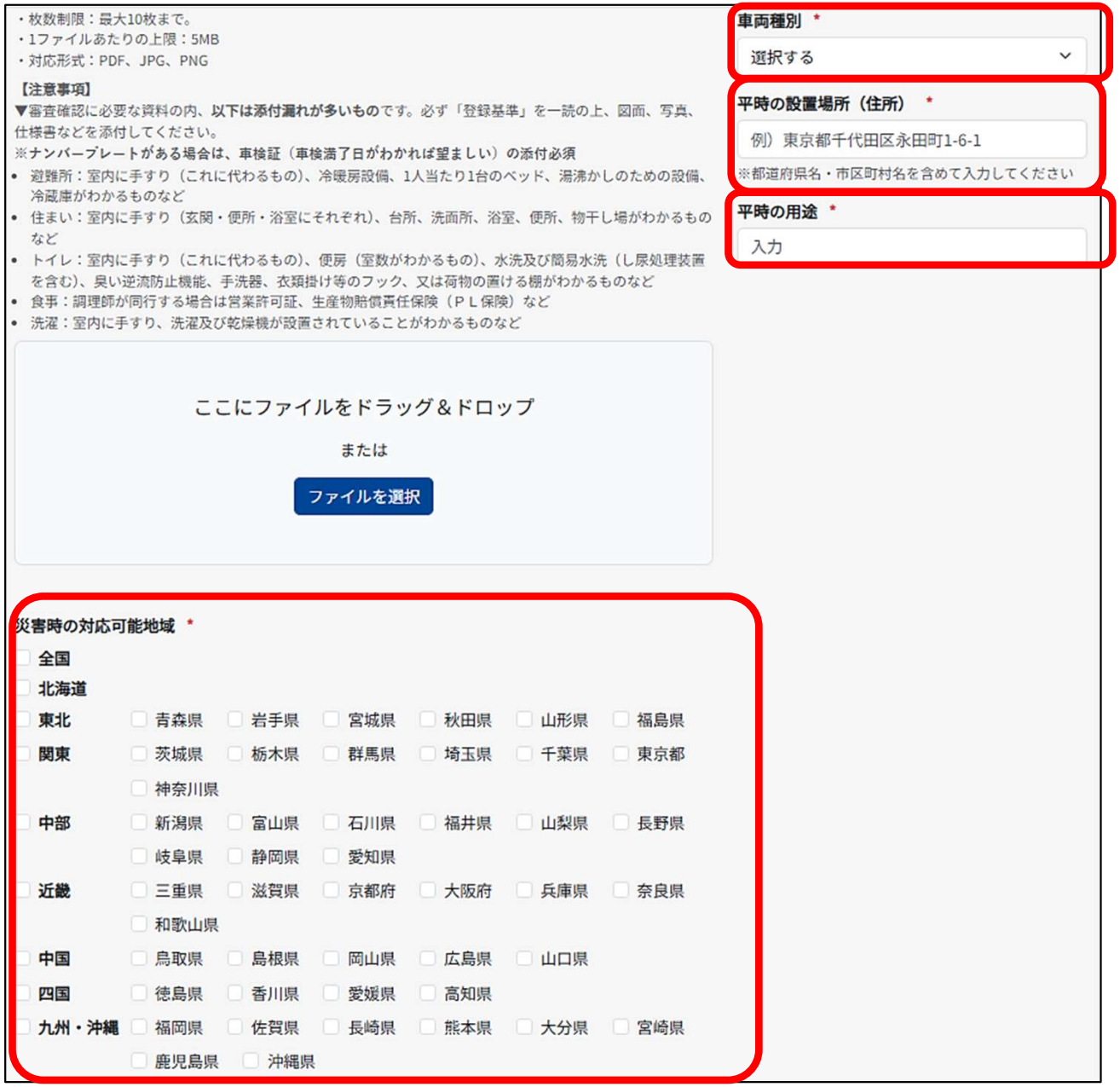


- 「レンタル価格/期間」は、レンタル価格を、レンタル期間の単位（日、月、年）に応じて入力してください。（キッチンカー等において、食事を提供する場合は、「0」円と入力し、メニュー欄に1食単価をご記入ください。）

- 「規格」は、車検証などを参照し車両のサイズ（mm単位）と総重量（kg単位）で入力ください。

- 「車検満了日」は、車検証を取得している場合は、「あり」を選択し、車検が満了する年月日を入力してください。ムービングハウスやコンテナハウス等、車検証がない場合には、「なし」を選択し、「車検満了日（日付）」は空欄としてください。

災害対応車両の登録申請（車両の情報）⑥



- 「車両種別」は、該当する種別を選択してください。
- 「平時の設置場所（住所）」は、平時利用の際に設置している住所（現在設置または保管している住所）を**都道府県名・市区町村名を含めて入力してください。**
- 「平時の用途」は、平時利用の際に活用している用途を入力してください。
- 「災害時の対応可能地域」は、車両の提供（支援）が可能な地域を選択してください。なお、**積雪寒冷地への提供（支援）に際しては、スノータイヤの有無等、冬期間の支援依頼の対応も考慮した上で選択してください。**

災害対応車両の登録申請（車両の情報）⑦



- 「車検証記載の初度登録年月」は、車検証を取得している場合は車検証記載の年月を、車検証がない場合は製造会社等が発行している仕様書等を基に製造年月を、それぞれ入力してください。
- 「道路運送車両法の基準緩和の要否」は、道路を走行する上で緩和を受ける必要がある場合は「必要」を選択してください。
- 「車両自賠責保険以外の任意保険等の加入の有無」は、該当する場合は「あり」を選択のうえ、「任意保険名称」を入力してください。

災害対応車両の登録申請（車両の情報）⑧

防災庁



- 「追加申告欄」は、特記すべき事項や車両のアピールポイント等を自由に入力してください。

- 「車両ナンバー又は製造番号」は、**車検証を取得している場合は「車両ナンバー」を入力**してください。ムービングハウスやコンテナハウス等、**車検証がない場合は製造会社等が発行している仕様書等を基に「製造番号」を入力**してください。
  車両ナンバー又は製造番号は、**数字は半角、文字と数字の間にスペースは入れずに入力**してください。

- 「災害時の活動実績の有無」は、災害支援の実績の有無を選択してください。活動実績が「ある」場合は、過去の活動実績の詳細を自由に入力してください。

例）能登半島地震において、キッチンカーを配車調整し、合計14万食分を提供した。等

災害対応車両の登録申請
（「避難所」用途の情報）

災害対応車両の登録申請（用途別情報：避難所）登録基準・自己申告事項

防災庁

□「登録基準」に記載の各項目は、登録に必須の項目です。申請する車両が各用途の基準を満たしているか、登録申請の前に、必ずご確認ください。

登録基準	○ 一定期間避難する場所としての環境が確保されており、宿泊の用途で利用が可能であること。 ○ 1人当たり1台のベッドが設けられていること。（常時備え付け） ○ 冷暖房設備が設けられていること。（常時備え付け） ○ 湯沸かしのための設備が設けられていること。（常時備え付け） ○ 冷蔵庫が設けられていること。（常時備え付け） ○ 照明が設けられていること。（常時備え付け） ○ 換気設備が設けられていること。（常時備え付け） ○ 室内について、バリアフリーに配慮し、可能な限り段差の無い仕様であるほか、手すり等が設けられていること（ただし、災害対応車両の構造上、やむを得ずこれらに適合しない場合は、この限りでない。）。 【確認手法】 上記基準に適合することについて、図面（設計図書、竣工図書その他これらに準ずる書面）、車両写真で確認する。
自己申告事項	○ 面積（㎡）と利用可能人数（人） ○ トイレの有無及び仕様（し尿処理装置の有無並びにし尿処理方法） ○ 入浴設備の有無及び仕様（シャワーユニット/ユニットバス/その他） ○ キッチン設備の有無 ○ テレビの有無 ○ 電子レンジの有無 ○ ペットの受入れの可否 ○ 寒冷地対応の可否（配管保温の処理/スノータイヤ所持の有無/積雪耐荷重/断熱数値） ○ 車いす対応の可否（室内段差なし、各間口80cm以上、室外との間に発生する段差を解消するためのスロープ（勾配1/12以下）の設置が可能である等） ○ 災害対応車両の管理に必要な人員の有無及び管理の具体的内容 ○ 追加申告欄（自由記入） 【確認手法】 上記項目について、申請書、図面（設計図書、竣工図書その他これらに準ずる書面）、車両写真、各種認定書等で確認する。

災害対応車両の登録申請（用途別情報：避難所）①



- 「面積」は、自走式車両（キャンピングカー等）の場合、運転席及び助手席部分を含めない形で入力してください。

- 「生活可能人数」は、登録基準の「1人当たり1台のベッドが必要」の項目の確認に用いますので、ご注意ください。

例） 生活可能人数が3人に対してベッド数が2台の場合は、ベッド数不足のため、基準を満たさないこととなります。

- 「トイレの有無」が「あり」の場合は、「し尿処理装置の有無及びし尿処理方法」を入力してください。

- 「し尿処理装置」とは、循環型やバイオトイレ等を指します。

- 「キッチン設備」は、流し台及びコンロの有無について選択してください。なお、コンロはポータブルタイプの仕様も可能です。

災害対応車両の登録申請（用途別情報：避難所）②



- 「テレビ」は、テレビ本体の設置の有無を選択してください。なお、テレビ端子のみ設置されている場合は該当しません。
- 「ペットの受け入れ」は、ペットの受け入れが可能か選択してください。例としては、犬、猫、小鳥などを想定しています。受け入れ可能な範囲について特段の事情があるときはご相談ください。
- 「寒冷地対応」は、寒冷地への移動や寒冷地での活動が可能か選択してください。なお、活動可能な場合は、「詳細」にスノータイヤの所持の有無や給排水の凍結防止対策の有無等を入力してください。

災害対応車両の登録申請（用途別情報：避難所）③



- 「車両の管理に必要な人員」は、車両を一定期間使用する上で、車両管理に専門的な知識を持った人員が必要となるか否かを選択してください。
- 専門的なメンテナンスが定期的に必要となるなどの場合には、「管理内容」において、その内容を入力してください。
- 「その他の追加申告欄」は、特記すべき事項や車両のアピールポイント等を自由に入力してください。

災害対応車両の登録申請
（「住まい」用途の入力）

災害対応車両の登録申請（用途別情報：住まい）登録基準・自己申告事項

防災庁

□「登録基準」に記載の各項目は、登録に必須の項目です。申請する車両が各用途の基準を満たしているか、登録申請の前に、必ずご確認ください。

登録基準

※以下は、能登半島地震の被災者向け応急仮設住宅と同様の仕様

(*) 世帯人数に応じて、より広い面積が必要となる場合もあるが、登録の時点では実際の収容人数が不明であるため、最低限の床面積（6坪）をクリアしているか否かを確認する

○ 広さが20㎡以上であること(*)。
○ 台所、洗面所、浴室（浴槽及びシャワー設備）、便所及び物干し場（屋内及び屋外を問わない）が設けられていること。
○ 浴室、台所、洗面所に給湯設備が設けられているほか、浴室には追い炊き機能及びシャワーフックが設けられていること（ただし、追い炊き機能については、建物の断熱性が高い（UA値=0.46W/㎡・K以下）等の場合には、設置を要しない。）。
○ 台所にIHクッキングヒーター又はガスレンジが設けられているほか、水洗便所に暖房便座が設けられていること。
○ 台所、便所、浴室に換気設備が設けられていること。
○ テレビ受信用アンテナとエアコン一台が設けられていること。
○ 物干金物（屋内及び屋外を問わない）、ポーチが設けられていること。
○ 室内に洗濯機置き場が設けられていること。
○ 室内について、バリアフリーに配慮し、可能な限り段差の無い仕様であるほか、玄関、便所、浴室等には手すりが設けられていること。

【確認手法】上記基準に適合することについて、図面（設計図書、竣工図書その他これらに準ずる書面）、車両写真、各種認定書等で確認する

自己申告事項

○ 階数（階）
○ 面積（利用可能世帯数）
○ 雨どいの有無及び取り付け可否
○ 積雪寒冷地の積雪耐荷重（cm）
○ 断熱数値（UA値）（W/㎡・K）　※断熱性能等級4相当（UA値=0.46W/㎡・K以下）の断熱性能が確保されていることが望ましい
○ 温水洗浄便座の有無
○ 掃き出し窓の有無
○ 濡れ縁の有無
○ 車いす対応の可否（室内段差なし、各間口80cm以上、室外との間に発生する段差を解消するためのスロープ（勾配1/12以下）の設置が可能である等）
○ 追加申告欄（自由記入）

【確認手法】上記項目について、申請書、図面（設計図書、竣工図書その他これらに準ずる書面）、車両写真、各種認定書等で確認する

災害対応車両の登録申請（用途別情報：住まい）①



- 「階数」は、平屋建てか2階建てのうち該当するものを選択してください。ロフトは2階部分に該当しませんので、ロフト付きの場合は「平屋建て」を選択してください。
- 「対応可能戸数」は、車両の面積及び、当該の登録申請車両にて対応可能な戸数を入力ください。
- 「UA値」を入力する場合は根拠資料として、計算結果などが分かる資料（結果のみで可）のアップロードをお願いします。
- 「積雪寒冷地の積雪耐荷重」を入力する場合は根拠資料として、計算結果などが分かる資料（結果のみで可）のアップロードをお願いします。

災害対応車両の登録申請（用途別情報：住まい）②

防災庁



- 「雨どいの取り付け可否」は、提供（支援）後に現地で取り付けが可能であるか、選択してください。
- 「その他の追加申告欄」は、特記すべき事項や車両のアピールポイント等を自由に入力してください。

災害対応車両の登録申請
（「食事」用途の入力）

災害対応車両の登録申請（用途別情報：食事）登録基準・自己申告事項

防災庁

□「登録基準」に記載の各項目は、登録に必須の項目です。申請する車両が各用途の基準を満たしているか、登録申請の前に、必ずご確認ください。

登録基準	○ 温冷環境に配慮して食事を提供するための環境が整備されていること（季節に適した食事提供ができること）。 ○ 1以上の都道府県、保健所設置市又は特別区の営業許可を受けていること（災害対応車両と調理をする者が併せて提供される場合に限る。）。 ○ 生産物賠償責任保険（PL保険等）に加入していること（災害対応車両と調理をする者が併せて提供される場合に限る。）。
	【確認手法】上記基準に適合することについて、図面（設計図書、竣工図書その他これらに準ずる書面）、車両写真、保険証書、各種認定書等で確認する
自己申告事項	○ 災害対応車両のみ（調理をする者を除く）を提供することの可否 ○ 提供可能な食数（合計数） ○ 提供可能なメニュー（メニュー全て） ○ 車両における食品ストックの可否 ○ 調理熱源エネルギーの別（自動車燃料/LPガスボンベ/発電機/ポータブル電源/太陽光パネル/その他） ○ 寒冷地対応の可否（配管保温の処理/スノータイヤ所持の有無等） ○ 災害対応車両の管理に必要な人員の有無及び管理の具体的内容 ○ 追加申告欄（自由記入：搭載している調理機器や設備等）
	【確認手法】上記項目について、申請書、図面（設計図書、竣工図書その他これらに準ずる書面）、車両写真、各種認定書等で確認する

災害対応車両の登録申請（用途別情報：食事）①



- 「災害対応車両のみを提供することの可否」は、支援時に災害対応車両のみ提供する場合は「可（車両のみ）」、車両のみの提供は行わず必ず調理人とセットで支援を行う場合は「不可（調理人同行）」、どちらでも対応可能な場合は「可（車両のみ及び調理人同行）」を選択してください。

- 「車両の管理に必要な人員」は、車両を一定期間使用する上で、車両管理に専門的な知識を持った人員が必要となるか否かを選択してください。

- 専門的なメンテナンスが定期的に必要となるなどの場合には、「管理内容」において、その内容を入力してください。

- 「提供可能な食数」は、提供可能な最大食数を入力してください。

- 「提供可能なメニュー及びサービスに係る対価」は、支援時に提供可能なすべてのメニューとその対価について入力してください。

災害対応車両の登録申請（用途別情報：食事）②



- 「寒冷地対応」は、寒冷地への移動や寒冷地での活動が可能か選択してください。なお、活動可能な場合は、「詳細」にスノータイヤの所持の有無や給排水の凍結防止対策の有無等を入力してください。
- 「その他の追加申告欄」は、特記すべき事項や車両のアピールポイント等を自由に入力してください。

災害対応車両の登録申請
（「トイレ」用途の入力）

災害対応車両の登録申請（用途別情報：トイレ）登録基準・自己申告事項

防災庁

□「登録基準」に記載の各項目は、登録に必須の項目です。申請する車両が各用途の基準を満たしているか、登録申請の前に、必ずご確認ください。

登録基準	○ 便房が2以上設けられていること（ただし、バリアフリートイレの場合はこの限りでない。）。 ○ 「快適トイレ」標準仕様の11項目（以下）に適合していること。 ※⑦、⑧、⑨、⑩（鏡）、⑪は、車両派遣時に適合させる形でも可とする ①洋式（洋風）便座　②水洗及び簡易水洗（し尿処理装置を含む） ③臭い逆流防止機能 ④容易に開かない施錠機能 ⑤照明設備　⑥衣類掛け等のフック、又は荷物の置ける棚（耐荷重5kg以上） ⑦現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示（バリアフリートイレの場合はその旨の表示） ⑧周囲からトイレの入口が直接見えない工夫 ⑨サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）　⑩鏡と手洗器　⑪便座除菌クリーナー等の衛生用品 ○ 室内について、バリアフリーに配慮し、可能な限り段差の無い仕様であるほか、手すり等が設けられていること。 【確認手法】上記基準に適合することについて、図面（設計図書、竣工図書その他これらに準ずる書面）、車両写真、各種認定書等で確認する
自己申告事項	○ 「快適トイレ」推奨仕様の6項目（以下）への適合有無 ⑫便房内寸法900mm×900mm以上（面積ではない）　⑬擬音装置（機能を含む）　⑭着替え台　⑮臭気対策機能の多重化 ⑯室内温度の調整が可能な設備　⑰小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等） ○ 快適トイレ標準仕様⑦、⑧、⑨、⑩（鏡）、⑪に関し、車両派遣時に適合させる意思を有する場合は、その旨及びその対応方法 ○ 地面からトイレ室までの高さ ○ 個室の数（男女別数） ○ 女性用トイレ以外におけるサニタリーボックス設置の有無 ○ オストメイト対応の可否 ○ 小便器及び大便器の台数 ○ 温水洗浄機能の有無 ○ 外部電源の必要有無及び必要電気容量 ○ し尿処理装置の有無及びし尿処理方法 ○ し尿貯留タンク容量（リットル） ○ 給水タンク容量（リットル）及び必要洗浄水量（リットル/回） ○ 寒冷地対応の可否（配管保温の処理/スノータイヤ所持の有無/積雪耐荷重/断熱数値/暖房便座機能） ○ 車いす対応の可否（室内段差なし、間口80cm以上、室外との間に発生する段差を解消するためのスロープの設置（勾配1/12以下）が可能である等） ○ 災害対応車両の管理に必要な人員の有無及び管理の具体的内容 ○ 追加申告欄（自由記入：ISO19026への適合状況、床面から便座までの高さ等） 【確認手法】上記項目について、申請書、図面（設計図書、竣工図書その他これらに準ずる書面）及び写真、各種認定書等で確認する

災害対応車両の登録申請（用途別情報：トイレ）参考：快適トイレのイメージ

防災庁

□ 快適トイレの基準は下記となります。

快適トイレの標準仕様イメージ

国土交通省

1. 快適トイレに求める機能

①洋式（洋風）便器
②水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置を含む）
③臭い逆流防止機能
④容易に開かない施錠機能
⑤照明設備
⑥衣類掛け等のフック、又は荷物の置ける棚（耐荷重を5kg以上とする）

2. 付属品として備えるもの

⑦現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
⑧周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
⑨サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）
⑩鏡と手洗器
⑪便座除菌クリーナー等の衛生用品

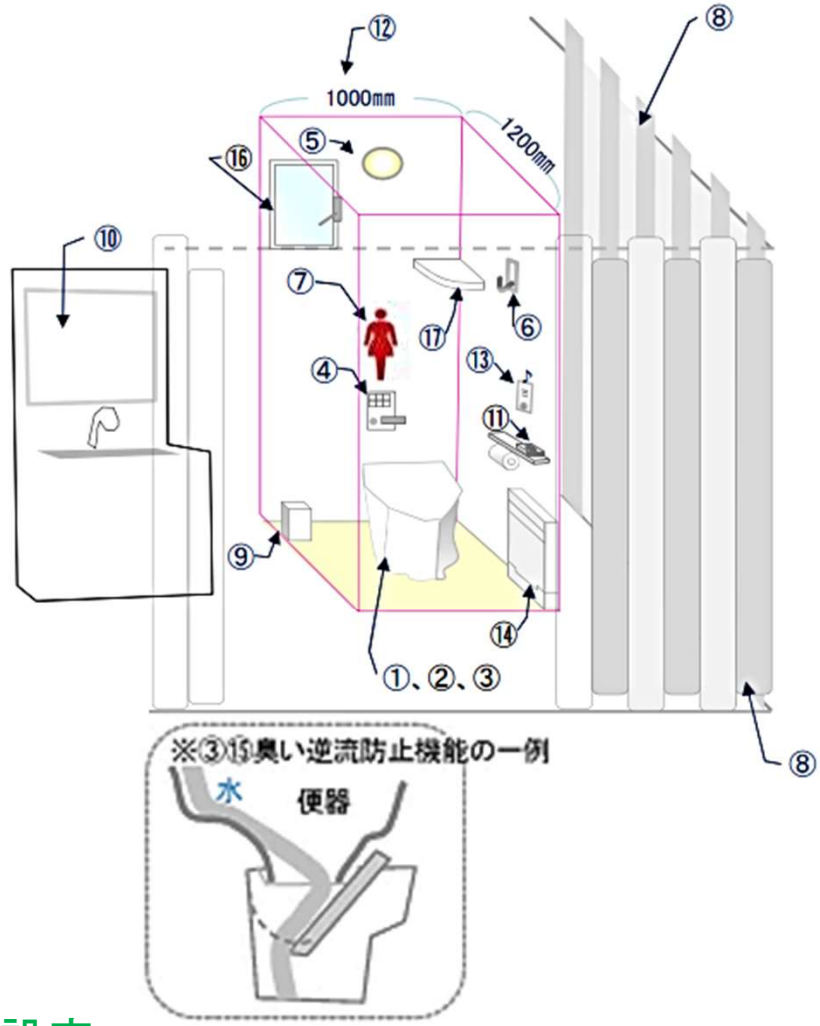
最低基準として設定 ←

⑦・⑧・⑨・⑩（鏡）・⑪は、車両派遣時に適合させる形で可

3. 推奨する仕様、付属品

⑫便房内寸法900×900mm 以上（面積ではない）
⑬擬音装置（機能を含む）
⑭着替え台
⑮臭気対策機能の多重化
⑯室内温度の調整が可能な設備
⑰小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等）

<イメージ図>



→ 自己申告事項として設定

出典：国土交通省HP

災害対応車両の登録申請（用途別情報：トイレ）①

防災庁



- 「快適トイレ標準仕様⑦⑧⑨⑩（鏡）⑪を、災害支援時に適合させる意思の有無」及び「災害支援時に適合させる方法」は、例えば「⑪は支援時に現地で設置して適合させる」など、基準に適合させるための方法等を入力してください。

災害対応車両の登録申請（用途別情報：トイレ）②



- 「外部電源の必要有無及び必要電気容量」は、外部からの電源供給の要否について選択してください。また、必要な場合は「詳細」に必要となる電気容量を入力してください。
- 「し尿処理装置」とは、循環型やバイオトイレ等を指します。
- 「地面からトイレ室までの高さ」は、およその高さでも構いませんので、cm単位で入力ください。

災害対応車両の登録申請（用途別情報：トイレ）③



- 「寒冷地対応」は、寒冷地への移動や寒冷地での活動が可能か選択してください。なお、活動可能な場合は、「詳細」にスノータイヤの所持の有無や給排水の凍結防止対策の有無等を入力してください。
- 「車両の管理に必要な人員」は、車両を一定期間使用する上で、車両管理に専門的な知識を持った人員が必要となるか否かを選択してください。
- 専門的なメンテナンスが定期的に必要となるなどの場合には、「管理内容」において、その内容を入力してください。
- 「その他の追加申告欄」は、特記すべき事項や車両のアピールポイント等を自由に入力してください。

災害対応車両の登録申請
（「洗濯」用途の入力）

災害対応車両の登録申請（用途別情報：洗濯）登録基準・自己申告事項

防災庁

□「登録基準」に記載の各項目は、登録に必須の項目です。申請する車両が各用途の基準を満たしているか、登録申請の前に、必ずご確認ください。

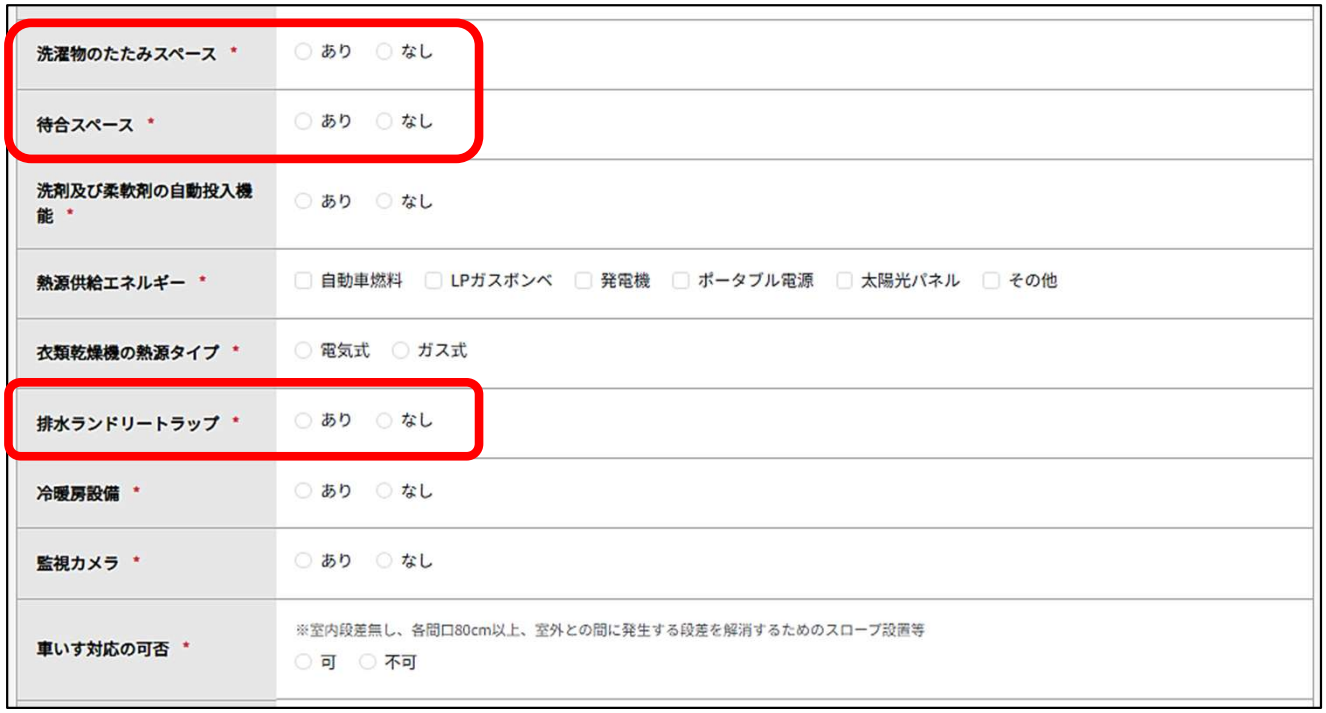
登録基準	○ 洗濯及び乾燥が可能な環境が整備されていること。 ○ 洗濯及び乾燥機（家庭用含む）が3セット以上設置されていること。 ○ 室内について、バリアフリーに配慮し、可能な限り段差の無い仕様であるほか、手すり等が設けられていること。 【確認手法】上記基準に適合することについて、図面（設計図書、竣工図書その他これらに準ずる書面）、車両写真、各種許可書等で確認する
自己申告事項	○ 洗濯機の設置台数と容量（台数とkg） ○ 乾燥機の設置台数と容量（台数とkg） ○ 洗濯物のたたみスペースの有無 ○ 待合スペースの有無 ○ 洗剤及び柔軟剤の自動投入機能の有無 ○ 熱源供給エネルギーの別（発電機/ポータブル電源/LPガスボンベ/太陽光パネル/その他） ○ 乾燥機の熱源（電気/ガス） ○ 排水ランドリートラップの有無 ○ 冷暖房設備の有無 ○ 監視カメラの有無 ○ 寒冷地対応の可否（配管保温の処理/スノータイヤ所持の有無/積雪耐荷重/断熱数値） ○ 車いす対応の可否（室内段差なし、間口80cm以上、室外との間に発生する段差を解消するためのスロープ（勾配1/12以下）の設置が可能である等） ○ 災害対応車両の管理に必要な人員の有無及び管理の具体的内容 ○ 追加申告欄（自由記入：洗剤及び柔軟剤の種類が自然由来のものである旨　等） 【確認手法】 上記項目について、申請書、図面（設計図書、竣工図書その他これらに準ずる書面）、車両写真、各種許可書等で確認する

災害対応車両の登録申請（用途別情報：洗濯）①



- 「洗濯機の設置台数と容量」は、車両内に設置されている洗濯機ごとに、その容量を入力してください。（3台目までは必須となります。）
- 「乾燥機の設置台数と容量」は、車両内に設置されている乾燥機ごとに、その容量を入力してください。（3台目までは必須となります。）
- 洗濯乾燥機は、洗濯１、乾燥１として記載が可能です。

災害対応車両の登録申請（用途別情報：洗濯）②



洗濯物のたたみスペース *	○ あり ○ なし
待合スペース *	○ あり ○ なし
洗剤及び柔軟剤の自動投入機能 *	○ あり ○ なし
熱源供給エネルギー *	□ 自動車燃料 □ LPガスボンベ □ 発電機 □ ポータブル電源 □ 太陽光パネル □ その他
衣類乾燥機の熱源タイプ *	○ 電気式 ○ ガス式
排水ランドリートラップ *	○ あり ○ なし
冷暖房設備 *	○ あり ○ なし
監視カメラ *	○ あり ○ なし
車いす対応の可否 *	※室内段差無し、各間口80cm以上、室外との間に発生する段差を解消するためのスロープ設置等 ○ 可 ○ 不可

- 「洗濯物のたたみスペース」及び「待合スペース」は、それぞれの機能を兼用できる場合は、それぞれの項目で「あり」を選択して構いません。
- 「排水ランドリートラップ」は、車両に備え付けている場合は「あり」を選択してください。

災害対応車両の登録申請（用途別情報：洗濯）③



- 「寒冷地対応」は、寒冷地への移動や寒冷地での活動が可能か選択してください。なお、活動可能な場合は、「詳細」にスノータイヤの所持の有無や給排水の凍結防止対策の有無等を入力してください。
- 「車両の管理に必要な人員」は、車両を一定期間使用する上で、車両管理に専門的な知識を持った人員が必要となるか否かを選択してください。
- 専門的なメンテナンスが定期的に必要となるなどの場合には、「管理内容」において、その内容を入力してください。
- 「その他の追加申告欄」は、特記としてお知らせしたいこと、車両のアピールポイント等を自由に入力ください。

災害対応車両の登録申請
（「入浴」用途の入力）

災害対応車両の登録申請（用途別情報：入浴）登録基準・自己申告事項

防災庁

□「登録基準」に記載の各項目は、登録に必須の項目です。申請する車両が各用途の基準を満たしているか、登録申請の前に、必ずご確認ください。

登録基準	○ 入浴又はシャワーのための環境が整備されていること。 ○ 浴槽及びシャワー、又は、シャワーがそれぞれ2つ以上設けられていること（ただし、水循環システムを活用する場合は、この限りでない）。 ○ 脱衣所が設けられていること。 ○ 給湯設備が設けられていること。 ○ 暖房設備が設けられていること。（常時備え付け） ○ 照明設備が設けられていること。（常時備え付け） ○ 換気設備が設けられていること。（常時備え付け） ○ 室内について、バリアフリーに配慮し、可能な限り段差の無い仕様であるほか、手すり等が設けられていること。 【確認手法】 上記基準に適合することについて、図面（設計図書、竣工図書その他これらに準ずる書面）、車両写真、各種許可書等で確認する
自己申告事項	○ シャワーの設置数（台） ○ 浴槽の設置数（台） ○ 熱源供給エネルギーの別（発電機/ポータブル電源/LPガスボンベ/太陽光パネル/その他） ○ 冷房設備の有無 ○ 寒冷地対応の可否（配管保温の処理/スノータイヤ所持の有無/積雪耐荷重/断熱数値） ○ 車いす対応の可否（室内段差なし、間口80cm以上、室外との間に発生する段差を解消するためのスロープ（勾配1/12以下）の設置が可能である等） ○ 災害対応車両の管理に必要な人員の有無及び管理の具体的内容 ○ 追加申告欄（自由記入） 【確認手法】 上記項目について、申請書、図面（設計図書、竣工図書その他これらに準ずる書面）及び写真、各種認定書等で確認する

災害対応車両の登録申請（用途別情報：入浴）①



- 「シャワーの設置数」及び「浴槽の設置数」は、例えばユニットバスに、シャワーと浴槽がある場合は、シャワー1台、浴槽1台とカウントして入力してください。

- 「寒冷地対応」は、寒冷地への移動や寒冷地での活動が可能か選択してください。なお、活動可能な場合は、「詳細」にスノータイヤの所持の有無や給排水の凍結防止対策の有無等を入力してください。

災害対応車両の登録申請（用途別情報：入浴）②



- 「車両の管理に必要な人員」は、車両を一定期間使用する上で、車両管理に専門的な知識を持った人員が必要となるか否かを選択してください。
- 専門的なメンテナンスが定期的に必要となるなどの場合には、「管理内容」において、その内容を入力してください。
- 「その他の追加申告欄」は、特記すべき事項や車両のアピールポイント等を自由に入力してください。

災害対応車両の登録申請
（下書き（途中保存）・完了）

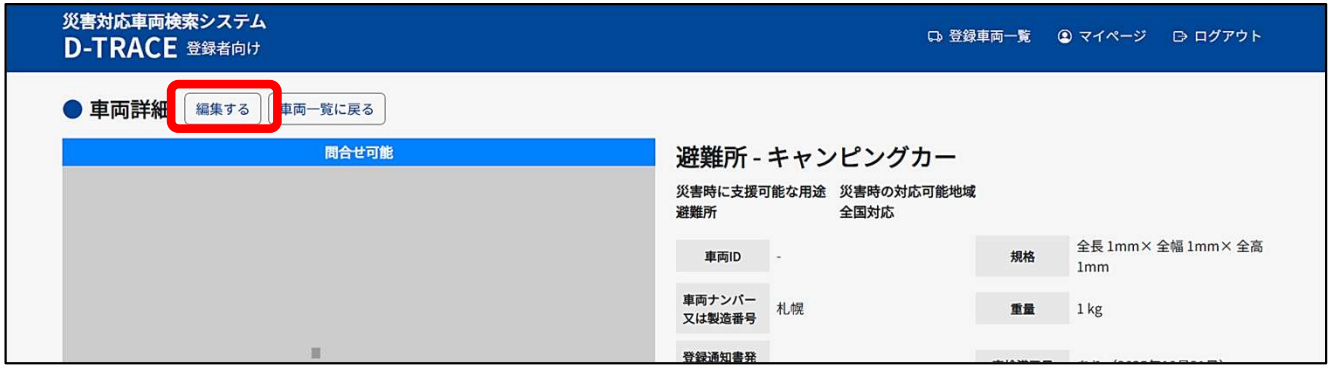
災害対応車両の登録申請（下書き（途中保存））

防災庁









- 入力の途中で保存をする場合は「下書き」をクリックしてください。
- 下書きで保存した場合は、車両一覧の「申請前」に保存がされます。登録申請を再開する場合は、当該車両をクリックしてください。
- クリック後、詳細画面にて「編集」をクリックし、登録申請入力を再開します。

災害対応車両の登録申請（車両の情報：完了）①

防災庁



- 入力をすべて完了したら、「確認する」をクリックしてください。

- 入力内容確認画面にて、内容に間違いがないかを確認してください。



- 入力内容に間違いがない場合は、「申請する」をクリックしてください。

災害対応車両の登録申請（車両の情報：完了）②



- 「申請する」をクリック後、完了画面に移行します。
- 申請完了後、審査完了までの所要時間は、概ね3週間の予定です。
- 審査の過程で、申請内容の確認や修正のお願いをすることがありますので、ご対応をお願いします。

災害対応車両の登録申請（車両の情報：完了）③

防災庁



- 続けて車両の登録を行う場合は、「マイページに移動」をクリックし、同じ手順で、再度車両の登録をお願いします。